

令和6年12月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和6年12月19日(木) 午後3時～午後4時10分

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 有島洋之教育長、湖東政俊職務代理者、關野洋香委員、圓山留美委員、佐原孝信委員

4 職務のため出席した事務局員

天坂教育次長、西参事、尾山学校教育課長、小谷文化振興課長(兼博物館長)、西島スポーツ振興課長、山口教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、長谷川図書館長、大谷内学校教育課長補佐、砂山文化振興課長補佐、田邊スポーツ振興課長補佐

5 協議事項

【報告案件】

- (1) 報告第1号 令和6年度教育論文・教育実践記録募集及び表彰式等について(教育総合センター)
- (2) 報告第2号 令和7年「二十歳のつどい」の開催について(文化振興課)
- (3) 報告第3号 「第71回文化財防火デー」に伴う消防訓練の実施について(博物館)

6 会議内容

- (1) 教育長の挨拶
- (2) 教育長の報告

令和6年11月29日(金)から12月19日(木)までの教育委員会所管事項を有島教育長が報告した。

12月市議会定例会の質問について各担当課長が説明した。

[質疑応答]

・12月市議会定例会について

- | | |
|-------|---|
| 委 員 | 氷見市もいじめ件数は増加傾向にあるとのことだが、どれくらいあるか。 |
| 事 務 局 | 今資料やデータを持ち合わせていないが増加傾向にある。積極的な認知を早急にしていこうということで数は増えてきている。 |
| 事 務 局 | 氷見市だけではなく、富山県内、全国的にも増えてきている。12月に開催した第4回市内学校長会議で、危機意識をもって対応してほしいと伝えた。 |
| 委 員 | いじめや不登校について、児童生徒数は減少しているので、件数ではなく100人あたりの件数で出した方が実態に近いのではないか。その方が分かりやすいのでは。 |
| 事 務 局 | 1,000人あたりの出現率では出している。漠然と数字だけ見ても分からないので全国でもそのような追い方はしている。今後氷見市でもそうしていきたい。 |

事務局	インクルーシブ教育については、保育園・幼稚園の子供たちも心配している。小・中学校は特別支援教育に以前から対応しているが、保育園・幼稚園は対応が進んでいないところもある。
委員	氷見市は先駆けて特別支援の専門員を取り入れて、いろいろな相談に乗ったり、対応したりして活躍しているが、富山県内ではどうか。
事務局	氷見市は特別支援教育に関しては進んでいると思う。他市は特別支援専門員という名前ではないが、特別支援を担当する職員を配置している。
委員	学校としても相談しやすくよい。
事務局	特に就学に関して、氷見市は教育支援委員会を開催し、保護者と子供も参加していただき総合的に判断している。他市は人数が多いこともあり書面で進んでいくことが多い。
委員	氷見市は児童生徒数が少ないわりにいろいろな支援学級が増えており、子供一人ひとりに十分な対応ができていると思っている。
委員	学級の児童生徒数の基準が変われば、またさらに充実してくるのではないかと思う。
事務局	今までも県や国に要望しているが、これからも要望を続けていきたい。他の形での人的支援については、学校と連携しながら教育委員会で行っているが、どこまでできるか難しいところはある。
事務局	特に中学校の特別支援学級の人数が増えてきている。令和7年度は中学校で3学年にまたがる学級があるので、何とか学習サポーター等の配置を検討したい。
委員	昔はなかなか特別支援学級に入るのを嫌がって大変だったが、今は入級したらいろいろな教育が受けられることが周知されており、親も安心して子供たちと取り組んでいるのではと思う。保育園や幼稚園で親に周知されていないということは無いのか。
事務局	保育園や幼稚園は園が許可し引き受けてくれないとそこへ行くことができないので難しい部分はある。
委員	氷見市は特別支援専門員を富山県で真っ先に配置しているので、小・中学校に関しては充実している。専門員から先生たちにも十分な指導ができるのでよい。
委員	氷見市に保育園児を引き受けてくれる民間の施設はあるか。
事務局	保育園児を受け入れるというのはなかなか難しい。
委員	最近厚生労働省の方でも取り上げられている。保育園児は氷見市はまだ該当無しというとか。
事務局	児童の放課後デイサービスはいくつかあるが、未就学児ではまだ無い。

(3) 協議内容

報告第1号は山口教育総合センター所長が、報告第2号及び報告第3号は小谷文化振興課長(兼博物館長)がそれぞれ説明・報告した。

[質疑応答]

・「二十歳のつどい」について

委員	案内は送付済みか。
事務局	送付済みである。来賓の皆様への案内も送付済みである。
委員	対象者は何名か。
事務局	令和6年12月1日現在で氷見市に住民登録のある方が331名である。
委員	昔は住民票が無くても招待状が届いていた。私は氷見市からと居住地からと案内が2枚届いた。記念品も届いた。卒業名簿で送っていたのかな。

事 務 局	氷見市は現在の住民票から抽出をしている。そうでないと生存の確認もできないのでリスクがある。
事 務 局	氷見市の場合は案内状が無くても当日来ていただければ入れる。
委 員	以前は受付があり氷見市の民話などの冊子を配っていたと思う。
事 務 局	配っていた時もあった。現在は受付もないので、どなたでも入れる。コロナの一時期は入場者のカウントをしていたが、それ以前もそれ以降もどなたでも入っていただける。
事 務 局	たくさん来ていただければよい。

(4) 1月の行事予定を各所属長がそれぞれ説明した。

(5) 1月の定例教育委員会議の開催日時を2月27日(木)午後3時に決定した。

7 閉 会 午後4時10分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員